図書室だより〈1月〉

町民センター３階

※貸出冊数は4冊まで、期限は2週間です

【開室時間】火～金曜日　10：00～20：30
土・日曜日　10：00～17：00
11日(月)は祝日のためポストは使えません
【休 室 日】毎週月曜日
※年末年始休室　H27.12.28～H28.1.4

今月のこの１冊

18きっぷ　朝日新聞社　編

朝日新聞名古屋本社版で連載された愛知、岐阜、三重の東海三県に住む18歳・46人のモノクロポートレート集である。僧侶見習い、花屋、酪農家、非行防止ボランティアなど、様々な職業・立場の若者たちを切り取った。

直木賞作家・朝井リョウからの、「最近怒ったこと」を含む「五つの質問」とインタビューで構成され、46人それぞれの現在・未来が追われている。

新聞での連載は中部写真記者協会の2014年度「企画部門賞」を受賞した。

新しく購入した図書（主なもの）

●　一　般　書　●

・師走の扶持　澤田瞳子
・墓標なき街　逢坂剛
・冬の光　篠田節子
・義貞の旗　安部龍太郎
・わかれ　瀬戸内寂聴
・人魚の眠る家　東野圭吾
・カールの降誕祭　フェルディナント・フォン・シーラッハ

●　児　童　書　●

・音楽室の日曜日　村上しいこ
・みんなのくまくまパン　西村敏雄
・白をつなぐ　まはら三桃
・リュックちゃんです。　とよたかずひこ
・がれきのなかの小鳥　カーリ・ビッセルズ

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場
内　容「くねくねりゅう」をつくります
日　時　１月23日㈯10:00～
持ち物　はさみ・カラーペン
対　象　5歳～（未就学児は保護者同伴）
場　所　町民センター2階　中会議室A
申し込みは直接図書室へ　又は、☎ 82-5221

◇おはなし会（第２土曜日、第３水曜日）
日　時　１月９日㈯　10:30～
１月20日㈬　15:00～
場　所　町民センター３階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動を推進します。

＊文　芸

十一月詠　ともしび短歌会　短歌

半生をかけての想ひ織り込みし
布はやさしく吾が身に添ひて　辻岡　洋子

“織”に生きがいを見出し、その想いを半世紀に亘り織り込み続けた布は、やさしく吾が身にフイットし、着心地が抜群と詠んでいる。「弛まぬ努力をし続ける」作者の一途な姿をこの歌に見る。

咲きほこる秋明菊は陽に映えて
逝く秋惜しむか黄の蝶離れず　杉本シズ子

秋の季節感漂う中、自然界の盛衰を「花と蝶」との関わりを通して詠んだ。黄色の蝶が今の自分の境遇を思い、やがて衰えゆく菊に「今を大切に！」と諭しているかのようだと捉えた。印象深い秀歌。

※秋明菊（秋咲菊）＝キンポウゲ科の多年草。中国原産。観賞用に栽培される。また、各地に野生化し、特に、京都の貴船山に多いので、キブネギクの名がある。高さ50㎝から80㎝。秋、花柄の先にキクに似た紅紫色または白色の花をつける。秋牡丹。

丹沢の山脈近き野の道に
畑焼くけむり紫に立つ　吉田　志麻

間近での畑焼きの実景を捉えた。清澄な雰囲気のある丹沢山脈をバックに、遠景と近景の対比の中で、枯草の焼ける煙の色合いを提示し、風もなく、においまでをも感じさせる。簡潔で奥深い歌。

近藤　正臣　選

十一月吟　開成俳句会　俳句

恙なく母百歳や冬薔薇　遠藤マツエ

健やかに過ごしてきた母、家族の為に懸命に生きてきた母はすでに百歳を迎えたのも、健康であればこそである。高齢化の現在を見回して希なめでたいことである。

その姿と〔冬のばら〕が誇り合っている様に思える気持ちの安らぐ秀句です。

新井たか志　選評

初詣鎮守の杜も遠くなり　波多野すみ枝
冬薔薇のぽつと一輪庭先に　濱本　主雄
姉の筆ほどよく跳ねし年賀状　下澤　操子
登山口いよいよ閉じし山眠る　有賀　孝子
冬のばら王妃の如く美くして　瀬戸　悦子
冬薔薇の真紅に視線集めたり　奥津ちわき
冬薔薇憂きことひとつ流したり　遠藤まつ子
喜寿傘寿寿卒寿に和む初句会　遠藤シヅ子
葉牡丹の十二単衣や主役の座　遠藤美津子
輪飾の海女小屋に立つ炎かな　選者吟

かいせい安全・安心だより

問　環境防災課　☎84－0314

歩行者や自転車利用者が夜間に交通事故に遭わないようにするために、反射材用品やLEDライトなどを活用しましょう。

暗くなったら反射材を身に着けよう

夜間に目立ちにくい服装（黒いコート・黒い靴など）を着用すると、自動車などからは歩行者が見えにくいため、事故に巻き込まれる可能性が高まります。

しかし、反射材用品やＬＥＤライトを活用すると、自動車のライトからの光を反射します。反射することで、いち早く自分が道路上にいることを自動車の運転者に知らせることができます。

自分から自動車のライトが見えても、自動車の運転者から歩行者が見えているとは限りません。特に冬季は日没が早いので、夕方から夜間にかけて外出する際は反射材を身に着けて外出しましょう。

日指せ日本一きれいな町！

問　環境防災課　☎84－0314

ごみの分別や水切りで家庭ごみが減少！更なるごみの減量にご協力を

町では、ごみの分別及びごみの減量化を推進しており、家庭ごみの排出総量は、平成25年度より年々減少しています。さらに、このごみ総量からリサイクルできたごみを除いた場合の町民一人１日あたりのごみ排出量が約494ｇになりました（平成26年度実績）。

これは、国が平成32年度までに目標としている一人１日あたりのリサイクルを除くごみ排出量500ｇを達成しています。これも皆さんのごみの分別や減量意識が徹底されたおかげです。

今後も、更なるごみの減量を推進するため、次のポイントに注意して引き続きご協力をお願いします。

ごみ減量の実践ポイント

- もえるごみに混入する雑がみなども できるだけ資源ごみへ分別しましょう。
- 生ごみの水切りを徹底しましょう。
- 生ごみ処理器キエーロを活用しましょう。

生き生きレポート

問　開成小学校　☎83－1616

しいのみコンサート開催

11月13日㈮、校内の音楽会「しいのみコンサート」を開催しました。各学年の発表があり、会場全体が感動に包まれた一日でした。今回は、かいせい学級が独自で発表し、楽器と体を精いっぱい使って表現しました。全校の子どもたちの大きな成長が見られたコンサートでした。皆さんの温かい拍手をありがとうございました。

なお、「しいのみ」のネーミングは、町の木「しいがし」からとっています。

教頭　森　芳久

かいせい学級の発表